

仲山 桂

熊本支部 66期

全く知りませんでしたけど、 凄く興味がありますね!

今回は熊本支部の仲山桂選手に、
熊本県産業技術センターを見学していただきました。
競輪補助事業で導入された機器が、
仲山選手にとって相当、お気に入りになったようです!



競輪ってこんなこと やっっているんだ!!

熊本支部は、新しい試みを今年度からやっています。
選手一人一人が営業する気持ちで頑張りたいですね。

——今回、熊本県産業技術センターをみられた感想はいかがでしたか。

「正直、感動しましたね。僕の好きな分野でしたからね。もの作りという分野ですね。もっと一般的に公表されて身近になれば良いと思うのですけど。」

「まず来ないですね。存在自体初めて知りませんでした。見学と聞いて、どのようなどころなんだろうと思っただけですけど、かなり身近な話だったので、かなり興味持ちました」

——仲山選手にとって絵などでデザインしたものが、ここに来ると立体的な製品化が出来ますよね。

「いや良いですね、間違いなく個人的にお願いに上がると思います。これを機会に。自分は(デザイン)の立体も、平面もやるんですよ。最初は(絵)平面ですよ。それに、コンピュータで色付けしたりとか、それを立体にしたり。例えば、今回出てきました樹脂だったり、石膏だったり、そういったもので立体にして、その上から着色をし、製品にして出すみたいな感じですね。」

「自分は、小さいものをたくさんという形ではやっていません。一つのアート作品の制作とか、そういった形でやっているんですけど、でも

今日のを見たら、ある程度の大きさの沢山。お店のグッズだったり、熊本競輪場のキャラクターのファイ太君とかを二次元化し、グッズにしたりとか、そういう事も可能だなと思いましたね。この職員になりたいですね。

「もの作りは元々好きでしかたね。ここにいらつやる方は、地元企業を応援されて、発展に役かっている、それ誇りを持って仕事をされているというのを感じましたし、非常に楽しそうだし、良いものを観た気がしますね。」

「競輪の売り上げがここで有効活用していただいているようで、非常に嬉しいですね。もともと頑張つて、沢山の補助が、そういった技術だったり、あるいは福祉だったり、そういうところに流れて行く形になって、自分たちの走りが、間接的に人助けになるというのは理想ですよ。」

——今までどこで補助がされて来たのかかという事は、ご存知でしょうか?

「漠然とですけど。町中を走っていたら、がん検診車に競輪のマークが入っていたらりすると、ここにいつているんだとか、後はコーマージャルとかで、盲導犬育成の為にとか、その何点かですね。色々あるんですね。もうちょっと勉強したいと思います」

いま熊本支部の状況いかがでしょうか?

「今年度から私は、選手会の役員なんですけど、企画広報ボランティアという部署ができました。そこに自分と後輩一人が入りました。今までは支部長、副支部長、常任幹事がいて、自分たちのような一般役員がいたんですが、上からの指令で、どういう事するかによるしくね、のような話が多かったんですが、やり方を変えて、下からの話を上が吸い取つて、最終決断することになりました。」

例えば、こういうコーマージャルを作りますというのを今まで広告代理店やテレビ局が持つて来たのに対し、エス、ノーという事だったので、これからは選手からの視線を更に加えて、今までの既存の物から、違う角度での提案をして行こうと思っています。選手一人一人が、営業マンとなつてお客さんをつれてこない、10年後はないと考えないといけないですよ。その為に、今、若い選手を啓蒙し、先輩選手にも協力していただいでやっています。」

「施行者、競技会、選手会がまとまって、真剣に取り組み、熊本競輪場の売り上げを2倍、3倍と上げていければ、他の競輪場も自分たちを見て、同じ事をやれば売り上げは上がるんだなと思っただけの参考になればいいなと思っています。選手のできるころはきちんとやるという事ですね」

——ファンの方に一言。

「こういう時代ですけども、本場に来て戴き、車券をご購入していただく事は本当に感謝しかありません。お客様に本当に喜んでいただけるレースをご提供している選手を高く評価させていただきますので、末永くお願い致します」